

神戸新聞

KOBE SHIMBUN

(神戸)

'17.6.18

534

県体協

ドーピング事例学ぶ 「専門家に相談を」

国体での継続的な8位入賞を目指し、選手強化を考える「チーム兵庫プロジェクト1会議」（兵庫県体育協会主催）が17日、神戸市中央区の市教育会館であり、各競技団体の強化担当者約70人がドーピングなどについて理解を深めた。

昨秋の岩手国体の男女総合得点(天皇杯)で兵庫は11位。成年男子は27位にとどまり、県体協の松本敏尚事務局次長は「ふるさと選手制度の活用などで成年種別を強化することが急務」と訴えた。

県薬剤師会薬事情報センターの薮下圭子氏はドーピングをテーマに講演。禁止成分



選手強化やドーピングについて理解を深めるプロジェクト1会議
神戸市中央区市教育会館

が毎年変わることや、過去の違反事例を説明し「不明点があれば自ら判断せず専門家に聞いて」と呼び掛けた。

続いて武庫川女大健康・スポーツ科学部の小柳好生准教授が、指導者とトレーナーの連携の重要性を語った。(藤村有希子)